

Manna マナ (018号) 2008年5月25日

空の鳥を見なさい



【今週の暗唱聖句】マタイ 6:33
**だから、神の国とその義とをまず第一に
 求めなさい。そうすれば、それに加えて、
 これらのものはすべて与えられます。**

●この御言葉で「与えられます」と約束されているものが二つあることに気づかれたであろうか。最初に与えられるのが「神の国とその義」であり、次に加えて与えられるのが「これらのもの」つまり、衣食住に関わる必要すべて、なのである。では「神の国とその義」を求めるとはどういう意味であり、その結果与えられるものとは具体的に何なのであるか。答えは同じマタイ 6章に出てくる「主の祈り」から拾い上げることができる。

●御名があがめられ、御国が来るように、御心が地で行われるように。

世界中の多くの人々がこれらの言葉の逆を行なっている。神の御名を汚し、人間の王国を築き上げようとし神の御心に反し、様々な悪を行なっている。人々は滅ぼされないためには自分（我）の上にイエス（羊）の犠牲を必要としていることを知らずに生きている。既に救われた私たちは、この状況に先ず、痛みを感じるようでありたい。そして人々が十字架に信頼し、立ち返って救われ、世に正義がもたらされ、神の聖なる名

が崇められるように祈り執り成し、行動することが求められている。このように最初の適用は周りの人々のために祈り、行動することである。言い換えれば自分に与えられた使命に生きる、ということである。

●負い目を赦し、試みに会わず、悪から救い給え。隠れた所におられる神の報いを求め、赦しに生き、宝を天に蓄える生き方を志す。次の適用は自分のために神の国とその義を求めることである。私たちは既にキリストにあって「義」とされてはいるが、今なお自分の罪と自己中心との戦いの中にいる。この戦いはそのまま「愛することを選ぶ訓練」であるので神は敢えて、その中に私たちを置かれるのである。自分のために神の国が実現するように祈ることは自分が霊的に成長し、ますます人生究極の目的である「神を知る」ようになることである。

●私たちが神に与えられた使命を果たし、神を知ろうと願うなら、その他、この地上で必要なものは、全て支給される。私たちは衣食住を人生の目的と履き違えてはならない。■

【今週の英語】 Adrian Rogers "Adrianisms"より

The worst form of badness is human goodness when human goodness becomes a substitute for the new birth.

人間的な善が「新生」に置き換えられてしまう時、人間的な善こそ最も忌むべきものとなる。
 Most people today are just interested in making the world a better place to go to hell from.

今日多くの人は地獄への出発点に過ぎない「この世」を改善することだけに熱心である。■

【先週のMESSAGEより】

山上の垂訓(説教) マタイ5章

●山上の説教を学ぶ時の注意／山上の説教は、(1)悔い改めて福音を信じ、(2)イエスに従う決心をし、(3)聖霊からの助けが与えられている人々に対して語られた、神の子供たちのライフスタイルである。よってこれを律法的に守ることによって救われるのではない。●「幸いです」＝「マカリオイ」＝「神から祝福されている／



BLESSED」／人は家やお金、車、恋愛、仕事、出世、荣誉、業績、健康等を手に入れることを幸せと考えるが、主は心の状態と姿勢にこそ本当の幸せがあることを教えておられる。しかもその心の状態ですら、私たちが通常思い浮かべる、楽しい、嬉しい、自信、積極性、満足、充実感というようなものではなく、むしろ全て逆である。主は次の9つを挙げられた。①心が貧しい／自分の罪深さと足りなさを知り、神に満たされ、成長させられなければならない存在だと知っている。②悲しんでいる／世の罪の現実を自分自身のみならず世の中のあらゆる場面において見据え、悲しむべきを悲しむ。③柔和／霊的に成熟しており、神が全てのことに於いて裁き主であることを知り、どんな時にも謙遜に振る舞う。④義に飢え渴く／神が正義を求めるように悪に満ちた世にあって正義を求める。⑤憐れみ深い／自分もかつて赦された罪人であることを知り、他者に対して憐れみ深くあり、同情する。⑥心のきよい／神が最終的に求めておられる心の聖さを生活の一番のゴールにする。⑦平和をつくる／積極的に世の問題に取り組み、和解と平和を推進する。⑧迫害されている人／正しい生き方をするがゆえに迫害されることを忍耐する。⑨悪口を言われている人／イエスに従うがゆえに迫害されることを忍耐する。●約束が伴っている／ここで最後に覚えるべきことは、一つ一つのあり方に対して約束が伴っていることである。約束を一つ一つ心に刻みたい。神は私たちをご自分に似たものとするために、山上の説教という「道」を示し、私たちにクリスチャンの成長のガイドラインを示してくださった。■

【宣教の働きのためにとりなす者となる】

●多くの人々は、宣教地に行けないと言い、特別な奉仕につけないと言っては悲しむ。だが、忠実にとりなしの祈りをささげることによって、宣教地と同じだけの奉仕が出来、実りを得ることが出来る。

パウル・ビルヘイマー ■

